

# 大会2日目 11月17日金

開会式 第1会場 9:00～9:20

大会長講演 第1会場 9:20～10:20

座長：伊藤順一郎（メンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ）

精神障がいを持つ人たちのリハビリテーションと睡眠・生活リズムとの関係

内村 直尚

久留米大学医学部神経精神医学講座 教授

特別講演1 第1会場 10:30～11:30

座長：皿田 洋子（福岡大学人文学部）

精神障害者の高齢化とリハビリテーション

伊藤 弘人

労働安全衛生総合研究所 過労死等調査研究センター

口頭発表1【研究】 第3会場 10:30～12:00

座長：松為 信雄（文京学院大学人間学部）

就労支援・障がい者雇用

○1-1 統合失調症の利用者における就労サービスの内容、アウトカム、個別型援助付き雇用フィデリティの関連：プロセス評価

○山口 創生<sup>1</sup>、佐藤さやか<sup>1</sup>、松長 麻美<sup>1</sup>、種田 綾乃<sup>1</sup>、下平美智代<sup>2</sup>、吉田 光爾<sup>3</sup>

<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 社会復帰研究部、

<sup>2</sup>特定非営利活動法人リカバリーサポートセンター ACTIPS 訪問看護ステーションACT-J、

<sup>3</sup>昭和女子大学 人間社会学部 福祉社会学科

○1-2 就労支援ソーシャルワークに関する研究 ―精神障害者の「その人らしい就労生活」を実現するための支援プロセス―

○三木 良子

帝京科学大学 医療科学部医療福祉学科

○1-3 社会とつながる就労支援統合失調症で入院を経験した人のオープン就労までのプロセス

○宮田 牧子<sup>1</sup>、野路三智洋<sup>1</sup>、中木 憲吾<sup>2</sup>、久木田瑠美<sup>2</sup>、郷良 淳子<sup>3</sup>

<sup>1</sup>医療法人長尾会 長尾会クリニック、<sup>2</sup>社会福祉法人みつわ会 プリーゼ、<sup>3</sup>人間環境大学

○1-4 一般就労継続を支える場と人の働き

○松本 浩平、鶴本 有美、山上 哲弘、室屋 陽香

社会福祉法人かがやき会 就労センター「街」

○1-5 統合失調症の自閉性に関わって～現実的な自己発見への訪問看護の役割を考察する～

○山本 典秀、北野 智子

医療法人郷の会 こころの郷クリニック

## 自主プログラム1 第4会場 10:30～12:00

精神障害者の回復に向けたマインドフルネス療法 ～統合失調症を中心に～

○美濃部るり子<sup>1</sup>、杉浦久美子<sup>2</sup>、加藤 篤士<sup>3</sup>、福岡 透<sup>4</sup>

<sup>1</sup>独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 医局、<sup>2</sup>独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 心理療法士室、  
<sup>3</sup>早稲田大学教育学研究科 教育心理学教室、<sup>4</sup>独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 看護部

## 口頭発表2【研究】 第5会場 10:30～12:00

座長：佐藤さやか（国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所）

退院支援・地域連携、心理教育・認知行動療法

O2-1 介護支援専門員の高齢精神障害者への支援の現状と課題

○原田 小夜<sup>1</sup>、西垣 里志<sup>2</sup>、山根 寛<sup>3</sup>

<sup>1</sup>梅花女子大学看護保健学部看護学科、<sup>2</sup>聖泉大学看護学部、<sup>3</sup>「ひとと作業・生活」研究会

O2-2 長期入院精神障害者の退院支援におけるPSWの「かわり」

○國重 智宏

東洋大学ライフデザイン学部

O2-3 自己実現と退院阻害要因の間で見えてきた課題

○清水 有美

医療法人 敬寿会 吉村病院

O2-4 精神科救急病棟における早期心理教育の実践～患者の主観的体験を語る場としての機能～

○中川 衛<sup>1</sup>、山根 寛<sup>2</sup>

<sup>1</sup>特定医療法人栄仁会 宇治おうばく病院、<sup>2</sup>「ひとと作業・生活」研究会

O2-5 デイケアプログラムにおけるリハビリ志向の集団心理教育がもたらすエンパワメントについて—インタビューを通して—

○今井佐千子、池端 紀恵

五稜会病院

O2-6 リハビリ志向の構造化された心理教育 (IMR) が精神症状と認知機能に与える影響について

○橋本 昌明<sup>1</sup>、山内 宏治<sup>1</sup>、渡部健一郎<sup>1</sup>、渡部亜矢子<sup>1</sup>、山口 皓平<sup>1</sup>、兼田 康宏<sup>2</sup>

<sup>1</sup>公益財団法人正光会 宇和島病院、<sup>2</sup>医療法人翠松会 岩城クリニック

## 自主プログラム2 第6会場 10:30～12:00

福祉サービスにおける環境づくりの取り組み —当事者参加の効果と課題—

○齊藤 健<sup>1</sup>、福岡 薫<sup>2</sup>、横田久美子<sup>3</sup>、近藤 友克<sup>1</sup>、上野 容子<sup>4</sup>、岩崎 香<sup>5</sup>

<sup>1</sup>社会福祉法人豊心会、<sup>2</sup>社会福祉法人みつわ会、<sup>3</sup>社会福祉法人創志会、<sup>4</sup>東京家政大学、<sup>5</sup>早稲田大学

## ランチョンセミナー1 第3会場 12:00～12:50

座長：大治 太郎（医療法人聖ルチア会 聖ルチア病院）

生活行動支援を基本に転倒防止を考える ～睡眠薬の適正使用も含めて～

黒川美知代

武蔵野赤十字病院 医療安全推進センター 医療安全推進室医療安全管理者 看護師長

共催：エーザイ株式会社

**ランチョンセミナー2 第4会場 12:00～12:50**

座長：児玉 英嗣 (医療法人社団芳英会 宮の陣病院)

社会復帰を見据えた統合失調症治療戦略 ～今分かっていることと、今できること、そしてこれから～  
堀 輝

産業医科大学精神医学教室

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

**ランチョンセミナー3 第6会場 12:00～12:50**

座長：後藤 雅博 (医療法人恵生会 南浜病院)

リカバリー支援のために認知機能

リハビリテーションをいかに活用するか ～リカバリーに適した薬物療法～

松田 康裕

奈良県立医科大学 精神医学講座

共催：大日本住友製薬株式会社

**教育講演 第1会場 13:00～14:00**

座長：後藤 雅博 (医療法人恵生会 南浜病院)

被災者・被害者支援と精神科リハビリテーション

前田 正治

福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座

**口頭発表3【研究】 第2会場 13:30～15:00**

座長：岩崎 香 (早稲田大学人間科学学術院)

リカバリー、ピアサポート

**O3-1 精神科デイケア利用者のIMR参加による生活の質と満足度  
リカバリー志向及び社会生活の変化**

○杉本圭以子<sup>1</sup>、藤原 朋子<sup>2</sup>、山本 隆正<sup>2</sup>

<sup>1</sup>大分県立看護科学大学 精神看護学研究室、<sup>2</sup>医療法人山本記念会 山本病院

**O3-2 リカバリーへの道のりを共有するための5段階4ステップ～目標到達度に関する主観的評価  
の活用～**

○荻山 和生

佛教大学保健医療技術学部作業療法学科

**O3-3 精神科領域の専門職者における、リカバリーに関する知識の関連要因の検討**

○千葉 理恵<sup>1</sup>、宮本 有紀<sup>2</sup>、山口 創生<sup>3</sup>

<sup>1</sup>兵庫県立大学 地域ケア開発研究所、<sup>2</sup>東京大学大学院 医学系研究科 精神看護学分野、

<sup>3</sup>国立精神神経医療研究センター 社会復帰研究部

**O3-4 ピアの専門性を活かして働く上での研修ニーズ：精神障がい者ピアサポート専門員養成研修受  
講者に対するアンケート調査**

○種田 綾乃<sup>1,2</sup>、三宅 美智<sup>3</sup>、山口 創生<sup>1</sup>、藤井 千代<sup>1</sup>、岩崎 香<sup>4</sup>

<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 社会復帰研究部、<sup>2</sup>筑波大学 医学医療系、

<sup>3</sup>国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神保健計画研究部、<sup>4</sup>早稲田大学 人間科学学術院

**O3-5 公共の場における語りのジレンマリカバリーの物語のシナリオは誰がかくのか**

○栄 セツコ<sup>1</sup>、清水 由香<sup>2</sup>

<sup>1</sup>桃山学院大学 社会学部 社会福祉学科、<sup>2</sup>大阪市立大学大学院 生活科学研究科

○3-6 精神障害者ピアサポート活動推進に向けた専門職支援のあり方に関する考察—参与型観察調査の結果から—

○黒須 依子

九州保健福祉大学 社会福祉学部

**口頭発表4【研究】 第3会場 13:30～15:00**

座長：安西 信雄（帝京平成大学大学院臨床心理学研究科）

調査研究、家族支援、その他

○4-1 再発リスクの高い外来統合失調症患者の生活時間—臨床特徴の探索—

○田中 希枝<sup>1,2</sup>、荒金 枝里<sup>1</sup>、出原麻有美<sup>1</sup>、高 結花<sup>1</sup>、稲富 宏之<sup>2</sup>

<sup>1</sup>社会医療法人北斗会さわか病院、<sup>2</sup>大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究科

○4-2 英国メリデン版訪問家族支援の効果に関する基礎的研究～家族からみた支援による変化と効果～

○佐藤 純<sup>1</sup>、吉野賀寿美<sup>2</sup>、酒井 一浩<sup>3</sup>、小松 容子<sup>4</sup>、上久保真理子<sup>5</sup>、伊藤 千尋<sup>6</sup>

<sup>1</sup>京都ノートルダム女子大学現代人間学部、<sup>2</sup>医療法人社団五稜会病院、

<sup>3</sup>医療法人社団博仁会おえメンタルクリニックゆう、<sup>4</sup>宮城大学看護学群、<sup>5</sup>医療法人社団互啓会ぴあクリニック、

<sup>6</sup>淑徳大学総合福祉学部社会福祉学科

○4-3 統合失調症患者を支える家族の介護負担と患者の認知機能や生活障害との関連

○岡田 宏基<sup>1</sup>、高塩 智道<sup>2</sup>、小池多華代<sup>2</sup>、鈴木 裕也<sup>3</sup>、郡司 洋子<sup>3</sup>

<sup>1</sup>那須高原病院 作業療法室、<sup>2</sup>那須高原病院 医療管理室、<sup>3</sup>那須高原病院 医療相談室

○4-4 多飲水患者に対する化粧を用いたアプローチ方法の一考察

○有田 薫

医療法人恵生会 南浜病院

○4-5 精神科看護師のストレスへの気づきとその関わりの必要性を感じた場面に関する文献検討

○松井 陽子<sup>1</sup>、片岡 三佳<sup>2</sup>

<sup>1</sup>朝日大学保健医療学部看護学科、<sup>2</sup>三重大学大学院医学系研究科看護学専攻

○4-6 精神障害のある方を対象としたパソコン操作スキルに関する研究の動向について

○森本かえで<sup>1,2</sup>、田中 千都<sup>3</sup>、真下いずみ<sup>4</sup>、橋本 健志<sup>1</sup>、四本かやの<sup>1</sup>、平野 秀実<sup>5</sup>

<sup>1</sup>神戸大学大学院保健学研究科、<sup>2</sup>関西医療大学 作業療法学科、<sup>3</sup>ありまこうげん診療所 デイケア、

<sup>4</sup>長岡病院、<sup>5</sup>株式会社ネットラーニング

**自主プログラム3 第4会場 13:30～15:00**

デイケアとアウトリーチ統合における社会参加へ向けてのアプローチ～誰でも地域で暮らせる社会を目指して～

○木村 尚美<sup>1</sup>、肥田 裕久<sup>1</sup>、大山早紀子<sup>2</sup>、大島 巖<sup>3</sup>

<sup>1</sup>医) 宙麦会ひだクリニック、<sup>2</sup>立教大学、<sup>3</sup>社会事業大学

**口頭発表5【実践】 第5会場 13:30～15:00**

座長：富野 佳紀（久留米大学病院看護部）

退院支援・地域連携1

○5-1 岡山市保健所における措置入院者への支援体制整備について～ケアマネジメントの展開からの考察～

○妹尾 忍

岡山市保健所 健康づくり課 精神保健係

**O5-2 拒否的言動が多かった統合失調症患者にIMRを実施したことによる効果、影響について～入院中から再発予防を目指して～**

○前田 大輝<sup>1</sup>、田中 悟郎<sup>2</sup>

<sup>1</sup>日見中央病院 生活支援部、<sup>2</sup>長崎大学 医学部 保健学科

**O5-3 自立訓練施設における短期入所の利用者について**

○齋藤 真哉、福吉 優子、大竹 智英、堀切 明、関口 隆一

埼玉県立精神保健福祉センター

**O5-4 精神科デイケア作品展を用いた啓発活動～商業施設と連携した広報の実践～**

○岡崎 史裕

医療法人 信和会 城ヶ崎病院

**O5-5 離島から通うA氏と両親に対しての外来OT支援～多職種・他機関との連携で支援が広がってきた事例～**

○呉屋 愛美、増尾 辰也

医療法人天仁会 天久台病院

**O5-6 集団認知行動療法と個別退院促進の統合型地域移行支援— 病院・地域連携—**

○古屋喜代子

医療法人誠心会 神奈川病院

**自主プログラム4 第6会場 13:30～15:00**

**CAT (Cognitive Activation Therapy) を体験しよう！楽しみながら笑って取り組む認知機能リハビリ**

○木納 潤一<sup>1</sup>、高野 隼<sup>2</sup>、坂井 一也<sup>3</sup>、渡邊 和子<sup>3</sup>

<sup>1</sup>医療法人鴻池会 秋津鴻池病院 リハビリテーション部、<sup>2</sup>関西医科大学総合医療センター 精神科デイケア、

<sup>3</sup>星城大学 リハビリテーション学部 作業療法学専攻

**大会シンポジウム1 第1会場 14:00～16:00**

コーディネーター・座長：前田 正治(福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座)

大江美佐里(久留米大学医学部神経精神医学講座)

**熊本・大分地震におけるリハビリテーション**

松永 哲夫(社会医療法人ましき会 益城病院)

倉田 哲也(社会福祉法人 くまもと障害者労働センター)

篠原 憲一(社会福祉法人 やまびこ福祉会 就労継続支援多機能型(A型B型) ゴー・スロー)

矢島 潤平(別府大学文学部人間関係学科)

**口頭発表6【実践】 第2会場 15:00～16:30**

座長：肥田 裕久(医療法人社団宙麦会 ひだクリニック)

**リカバリー1**

**O6-1 病棟コミュニティーミーティングがリカバリーを促進する作用について**

○永山 研

特定医療法人仁康会 小泉病院

06-2 「“なりたい自分”になるのは“自分”なんだ」という主体性を持ってもらうための関わり

○西村さやか

特定医療法人仁康会 小泉病院

06-3 デイケアにおけるIMRプログラムの実践

○藤原 朋子<sup>1</sup>、山本 隆正<sup>2</sup>、杉本圭以子<sup>3</sup>

<sup>1</sup>医療法人山本記念会山本病院デイケア、<sup>2</sup>医療法人山本記念会山本病院、

<sup>3</sup>大分県立看護科学大学精神看護学研究室

06-4 デイケア利用期限を設定したことによる長期利用者の変化の要因考察について

○小西 亮、加藤 郁子、小出 富恵、渡部 良子、大門 一司

滋賀県立精神医療センター地域生活支援部デイケア

06-5 リカバリーカレッジたちかわの実践報告～Co-Production(共同創造)を通して～

○小川 友季<sup>1</sup>、佐々木理恵<sup>1</sup>、宮本 有紀<sup>2</sup>、真嶋 信二<sup>3</sup>

<sup>1</sup>Parquetグループ リカバリーカレッジたちかわ、<sup>2</sup>東京大学大学院医学系研究科看護学分野、

<sup>3</sup>認定NPO法人 リカバリーサポートセンター ACTIPS

06-6 フットサルを通して活動範囲に広がりをもせた一事例～本人の語りを含めて～

○中ノ瀬将造<sup>1</sup>、安田 正臣<sup>1</sup>、下條 真鳳<sup>1</sup>、坂井 一也<sup>2</sup>

<sup>1</sup>いぬお病院、<sup>2</sup>星城大学 リハビリテーション学部

□頭発表7【実践】 第3会場 15:00～16:30

座長：原口 健三(国際医療福祉大学福岡保健医療学部作業療法学科)

心理教育・認知行動療法、作業療法・SST、家族支援

07-1 水中毒対策グループによる多飲症・水中毒のリスクのある患者を対象とした心理教育ミーティングの新しい取り組み

○松尾 竜也、廣田 和美、桑田 武志、吉田 卓生

医療法人静光園 第二病院

07-2 般化のための技法である技能プログラミング(Programming Skill Use)の実践 ～役割の再獲得に繋がった一症例～

○児玉 和也<sup>1</sup>、大橋 秀行<sup>2</sup>

<sup>1</sup>山梨県立北病院、<sup>2</sup>埼玉県立大学

07-3 包括的支援により社会機能が改善した統合失調症患者—神経認知機能と社会機能と家族の後方視的検討—

○渡部 誠一

医療法人慈全会那須高原病院作業療法室

07-4 発達障害を持ち不登校となった男児の経過—SSTプログラムを実施して—

○中西 弥生

兵庫県立ひょうごこころの医療センター

07-5 メリデン版訪問家族支援の実践を通して得た課題～エンゲージメントに着目して～

○吉野賀寿美<sup>1</sup>、佐藤 純<sup>2</sup>、伊藤 千尋<sup>3</sup>、長江美代子<sup>4</sup>、大野 美子<sup>5</sup>

<sup>1</sup>医療法人社団 五稜会病院/一般社団法人メリデン・ジャパン-ファミリーワークプロジェクト、

<sup>2</sup>京都ノートルダム女子大学 現代人間学部 生活デザイン学科/一般社団法人メリデン・ジャパン-ファミリーワークプロジェクト、

<sup>3</sup>淑徳大学 総合福祉学部 社会福祉学科/一般社団法人メリデン・ジャパン-ファミリーワークプロジェクト、

<sup>4</sup>日本福祉大学 看護学部 看護学科/一般社団法人メリデン・ジャパン-ファミリーワークプロジェクト、

<sup>5</sup>愛知県健康福祉部 障害福祉課 こころの健康推進室/一般社団法人メリデン・ジャパン-ファミリーワークプロジェクト



**自主プログラム5 第4会場 15:00～16:30**

就労支援の人材育成について ～これからの人材育成に求められる事とは?～

○陶 貴行<sup>1</sup>、木内 寛長<sup>2</sup>、鈴木 和<sup>3</sup>、恒吉麻実子<sup>1</sup>

<sup>1</sup>株式会社LITALICO リタリコワークス事業部 ヒューマンリソースグループ、

<sup>2</sup>株式会社エンラボ (FreeLance)、 <sup>3</sup>京都医健専門学校

**口頭発表8【実践】 第5会場 15:00～16:30**

座長：半澤 節子 (自治医科大学看護学部)

退院支援・地域連携2、就労支援・障がい者雇用1

**O8-1 地域において問題行動がみられていた統合失調症患者に対する支援からの学び～医療と福祉はいかに連携すべきか～**

○廣川 祐司<sup>1</sup>、南出 耕佑<sup>1</sup>、原田 美文<sup>2</sup>、岡本 利子<sup>1</sup>、金山 秀彦<sup>1</sup>

<sup>1</sup>医療法人 嶺南こころの病院、

<sup>2</sup>社会福祉法人 敦賀市社会福祉協議会 敦賀市基幹障害者相談支援センター「あいあい」

**O8-2 認知機能障害と就労との関連についての検討  
～ショートケアにおける簡易認知機能検査導入の試みより～**

○佐田 あゆ美<sup>1</sup>、釘抜 利明<sup>1</sup>、橋本 亮太<sup>2,3</sup>

<sup>1</sup>くぎぬき医院、 <sup>2</sup>大阪大学大学院連合小児発達学研究科附属子どものこころの分子統御機構研究センター、

<sup>3</sup>大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室

**O8-3 統合失調症患者への職業支援に求められるもの—A デイケアの利用者のニーズから—**

○中村 正子、佐野 瞳、山口 雅弘

公益財団法人復康会鷹岡病院

**O8-4 ある女性患者の就労支援を通じて、生活臨床の「指向する課題」達成支援を「コ・プロダクション」のモデルとして理解する**

○矢花 孝文<sup>1</sup>、森田 あゆみ<sup>1</sup>、梁取 慧<sup>1</sup>、牧田 泉紀<sup>1</sup>、田井 健<sup>1</sup>、小川 一夫<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>東京勤労者医療会 みさと協立病院、 <sup>2</sup>中之条病院

**O8-5 SSTを用いた就労準備プログラム**

○近藤 聡美

社会福祉法人 巣立ち会

**O8-6 当事者の相互支援と現実対処能力の強化 ～一般就労した当事者のグループミーティングから見たこと～**

○鶴本 有美、松本 浩平、徳永 理華、小田 心火、野口 恵

社会福祉法人かがやき会 就労センター「街」

**自主プログラム6 第6会場 15:00～16:30**

たすき掛けプロジェクト ～ピアサポーターの活躍の場～

○遠藤 紫乃<sup>1</sup>、小田代桂子<sup>1</sup>、鎌田 康司<sup>2</sup>、高原 瑞穂<sup>3</sup>、島田 猛<sup>3</sup>

<sup>1</sup>一般社団法人 スターアドバンス、 <sup>2</sup>特定非営利活動法人 SIEN

<sup>3</sup>特定非営利活動法人 ひーらいとネット

**総会 ベストプラクティス賞・野中賞授賞式 第1会場 16:45～17:45**

**懇親会 久留米萃香園ホテル 2F 鶴の間 18:30～20:30**

**ポスター発表 2日目 11月17日(金) 13:00～14:00 (P-研究1～19) [P-実践1～9])**  
**3日目 11月18日(土) 13:00～14:00 (P-実践10～31))**

**P-研-1 グループホーム職員における感情知性と感情労働の実態調査**

○水野 高昌<sup>1</sup>、鈴木 一広<sup>2</sup>、岩井 和子<sup>3</sup>

<sup>1</sup>茨城県立医療大学 保健医療学部 作業療法学科、

<sup>2</sup>特定非営利活動法人おれんじはあと グループホームなんがい、<sup>3</sup>関西医療大学 新学科設立準備室

**P-研-2 精神障害者の外出支援に関する調査研究**

○大石 華法、及川麻衣子、辻 圭輔

日本福祉大学大学院福祉社会開発研究科

**P-研-3 作業療法士のレジリエンスと職場環境要因との関連**

○嘉数 栄司<sup>1,2</sup>、高原 美鈴<sup>1</sup>、與古田 孝夫<sup>1</sup>

<sup>1</sup>琉球大学医学部保健学科精神保健看護学分野、<sup>2</sup>沖縄リハビリテーション福祉学院作業療法学科

**P-研-4 ASD専門プログラム中断者の特徴**

○川畑 啓<sup>1</sup>、五十嵐美紀<sup>1,2</sup>、小峰 洋子<sup>1,2</sup>、宮田 賢<sup>1</sup>、水野 健<sup>1</sup>、横井 英樹<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>昭和大学附属烏山病院、<sup>2</sup>昭和大学発達障害医療研究所

**P-研-5 ASD専門プログラムが支援者に与える影響 AMED 事業（発達障害者の特性をふまえた精神科ショートケア・プログラムの開発と臨床応用に関する研究）報告**

○五十嵐美紀<sup>1</sup>、小峰 洋子<sup>1,2</sup>、横井 英樹<sup>1,2</sup>、霜山 祥子<sup>1</sup>、川畑 啓<sup>1</sup>、加藤 進昌<sup>2,3</sup>

<sup>1</sup>昭和大学附属烏山病院、<sup>2</sup>昭和大学発達障害医療研究所、<sup>3</sup>公益財団法人神経研究所附属晴和病院

**P-研-6 地域移行機能強化病棟移行後の家族の意識変化～地域関係機関と連携し退院支援を行う～**

○菅原 良子、成田 香華

社会医療法人智徳会未来の風せいわ病院

**P-研-7 職業リハビリテーションにおける精神障害者に対する「自己理解の支援」についての文献レビュー**

○前原 和明<sup>1</sup>、八重田 淳<sup>2</sup>

<sup>1</sup>障害者職業総合センター、<sup>2</sup>筑波大学

**P-研-8 一般企業へ紹介就職した精神障害者の雇用条件の分析**

○大石 甲

障害者職業総合センター研究部門

**P-研-9 農業分野で働く障害者の職務と働き方の工夫と配慮～企業の聞き取り調査から～**

○内木場雅子

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

**P-研-10 職場定着支援に求められるもの～働きはじめ、不安定な時期に必要な職場定着支援とは～**

○岡坂 哲也<sup>1</sup>、北岡 祐子<sup>1</sup>、徳田 篤<sup>1</sup>、宮崎 理慧<sup>1</sup>、高松 桃子<sup>1</sup>、橋本 健志<sup>2</sup>

<sup>1</sup>医療法人尚生会（創）シー・エー・シー、<sup>2</sup>神戸大学大学院保健学研究科

**P-研-11 患者の持つ本来の能力を発揮する作業療法実践～チームカンファレンスを契機として～**

○佐藤 慎一、畑 潤子

医療法人社団緑誠会光の丘病院



---

**P-研-12 精神障害をもつ20代の本人の親が参加する家族会の意義**

○宮越 裕治<sup>1</sup>、井倉 一政<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>総合心療センターひなが、<sup>2</sup>三重県立看護大学

---

**P-研-13 ASD専門プログラムが家族に与える影響AMED事業(発達障害者の特性をふまえた精神科ショートケア・プログラムの開発と臨床応用に関する研究)報告**

○小峰 洋子<sup>1,2</sup>、五十嵐美紀<sup>1,2</sup>、横井 英樹<sup>1,2</sup>、川畑 啓<sup>1</sup>、霜山 祥子<sup>1</sup>、加藤 進昌<sup>2,3</sup>  
<sup>1</sup>昭和大学附属烏山病院、<sup>2</sup>昭和大学発達障害医療研究所、<sup>3</sup>公益財団法人神経研究所附属晴和病院

---

**P-研-14 地域で暮らす統合失調症をもつ者のリカバリーの特徴と関連要因**

○福嶋 美貴<sup>1</sup>、伊藤 俊弘<sup>2</sup>、長谷川博亮<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>豊橋創造大学保健医療学部看護学科、<sup>2</sup>旭川医科大学医学部看護学科

---

**P-研-15 精神科デイケア通所者のIMR参加によるリカバリーの変化**

○庄司 寛子<sup>1</sup>、五ノ坪洋孝<sup>2</sup>、小川 信行<sup>3</sup>、中村 真里<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>医療法人光愛会光愛病院、<sup>2</sup>訪問看護ステーションアユース、<sup>3</sup>こうあいクリニックデイケア

---

**P-研-16 ピアスタッフとして働く人が経験するピアサポートの相互作用**

○御菌 恵将<sup>1</sup>、種田 綾乃<sup>1,2</sup>、濱田 由紀<sup>3</sup>、相川 章子<sup>4</sup>、荒井 浩道<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 社会復帰研究部、  
<sup>2</sup>筑波大学 医学医療系、<sup>3</sup>東京女子医科大学 看護学部、<sup>4</sup>聖学院大学 人間福祉学部、<sup>5</sup>駒澤大学 文学部

---

**P-研-17 初めてピアスタッフを雇用する組織で働く専門職スタッフは、何を考え、どのようにピアスタッフを迎えていくのか：質的研究**

○松本 衣美<sup>1</sup>、宮本 有紀<sup>2</sup>、藤枝由美子<sup>3</sup>、管 心<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>東京大学大学院 医学系研究科 精神保健学分野、  
<sup>2</sup>東京大学大学院 医学系研究科 精神看護学分野、<sup>3</sup>東京大学医学部附属病院 リハビリテーション部

---

**P-研-18 「人疲れ」感が持続する統合失調症患者に対する訪問時共同作業の有用性**

○大島 久典<sup>1</sup>、平良 勝<sup>1</sup>、四本かやの<sup>2</sup>、鈴木由美子<sup>1</sup>、中谷 恭子<sup>1</sup>、橋本 健志<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>兵庫県立ひょうごこころの医療センター、<sup>2</sup>神戸大学大学院保健学研究科

---

**P-研-19 精神看護学実習におけるストレスの視点導入の課題～臨地実習指導者の認識から～**

○林 世津子<sup>1</sup>、秋山 美紀<sup>1,2</sup>、阿達 瞳<sup>1</sup>、廣島 麻揚<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京医療保健大学医療保健学部看護学科、<sup>2</sup>慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究所

---

**P-実-1 ADHDを対象とした精神科ショートケアプログラムの実践**

○依田 浩介、牧山 優、田川 杏那、反町 絵美、葛西真紀子、加藤 進昌  
公益財団法人神経研究所 附属晴和病院

---

**P-実-2 リワークプログラムにおける作業療法前後の「気分と疲労」の自己分析から見てきたこと**

○巽 絵理<sup>1</sup>、長見まき子<sup>1</sup>、上田 和希<sup>2</sup>、西田 愉架<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>関西福祉科学大学 EAP 研究所、<sup>2</sup>ナカトミファティグケアクリニック

---

**P-実-3 在宅生活をおくる精神障害者の居場所づくりを目指して～事務所のトレーニング活動をコミュニティ創出の場にして～**

○居馬 大祐<sup>1</sup>、藤田 茂治<sup>1</sup>、菊池ゆかり<sup>1</sup>、矢山 壮<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>訪問看護ステーションりすたーと、<sup>2</sup>京都学園大学 健康医療学部 看護学科

---

**P-実-4 リカバリー促進実践：英国リカバリーカレッジ視察報告**

○真嶋 信二<sup>1</sup>、宮本 有紀<sup>3</sup>、小川 友季<sup>2</sup>、佐々木理恵<sup>2</sup>

<sup>1</sup>認定NPO法人 リカバリーサポートセンター ACTIPS、<sup>2</sup>Parquetグループ リカバリーカレッジたちかわ、

<sup>3</sup>東京大学大学院医学系研究科精神看護学分野

---

**P-実-5 精神科救急病棟における WRAP の有用性について～参加者にもたらした影響とその意味とは～**

○中山 理恵

長崎県精神医療センター 社会療法課

---

**P-実-6 ピアスタッフ雇用のプロセスについて ～英国リカバリーカレッジ& ImROC 視察からの報告～**

○佐々木理恵<sup>1</sup>、小川 友季<sup>1</sup>、宮本 有紀<sup>2</sup>、真嶋 信二<sup>3</sup>

<sup>1</sup>Parquetグループ リカバリーカレッジたちかわ、<sup>2</sup>東京大学大学院医学系研究科精神看護学分野、

<sup>3</sup>認定NPO法人リカバリーサポートセンター ACTIPS

---

**P-実-7 精神科病院へのピアサポーターの導入経過とピアサポーターの変容**

○篠田 晴菜<sup>1</sup>、田中 幸治<sup>1</sup>、渡邊真佐志<sup>1</sup>、村中 晶<sup>2</sup>

<sup>1</sup>社会福祉法人 萌 地域活動支援センターふらっと、<sup>2</sup>医療法人財団 北林厚生会 五条山病院

---

**P-実-8 ひきこもりから踏み出す一歩：安心、仲間、つながり**

○Oザリン ヨン (Yong Kim Fong Roseline)<sup>1,2</sup>、佐藤このみ<sup>2</sup>、深川 純一<sup>2</sup>、藤井 淳一<sup>2</sup>

<sup>1</sup>秋田大学大学院医学系研究科公衆衛生学講座、<sup>2</sup>特定非営利活動法人光希屋(家)ふらっと

---

**P-実-9 ピアサポートが齎す影響力の再考—希望に繋がる活動の継続を目指して—**

○藤本 悠子<sup>1</sup>、坂井 一也<sup>2</sup>、並河 勇志<sup>3</sup>、藤谷 賢作<sup>4</sup>、中村 泰久<sup>5</sup>

<sup>1</sup>愛知県精神障害者スポーツ連盟、<sup>2</sup>星城大学リハビリテーション学部教授、<sup>3</sup>こころのクリニック西尾、

<sup>4</sup>就労移行支援事業所ノックス葵、<sup>5</sup>日本福祉大学健康科学部リハビリテーション学科助教

---